

# 2017年6月期 第3四半期 決算補足資料

2017.05.15

日本工営株式会社

IRに関するお問い合わせ：経営企画部 コーポレートコミュニケーション室 03-5276-2454

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。

# 2017年6月期 第3四半期実績

(単位:百万円)

	2016.6期 第3四半期 実績	2017.6期 第3四半期 実績	前年同期 増減	前年同期 比率	2017.6期 第3四半期 参考値(*2)	前年同期 比率
受注高(*1)	60,821	<b>81,466</b>	20,644	133.9%	73,940	121.6%
売上高	51,754	<b>64,168</b>	12,413	124.0%	55,560	107.4%
売上総利益	14,338	<b>20,401</b>	6,063	142.3%	16,455	114.8%
営業利益	1,858	<b>3,603</b>	1,744	193.8%	3,553	191.2%
経常利益	1,648	<b>4,032</b>	2,383	244.6%		
親会社株主に帰属 する四半期純利益	409	<b>2,615</b>	2,205	638.6%		

(\*2)都市空間事業の数値を除いた場合の参考値

- 受注高は、大型案件のカイロ地下鉄4号線事業とBDP社受注分が加わり前年同期を上回る
- 売上高は、各セグメントとも好調に推移し、前年同期を上回る
- 生産性および収益管理の諸施策が奏功し、営業利益、経常利益、四半期純利益とも増益

(\*1)2017年6月期より、受注高の算出基準を変更しております。詳細は、当資料9ページをご確認ください。  
2016年6月期第3四半期実績についても同様の基準にて算出した数値を記載しております。

# セグメント別実績(受注高)

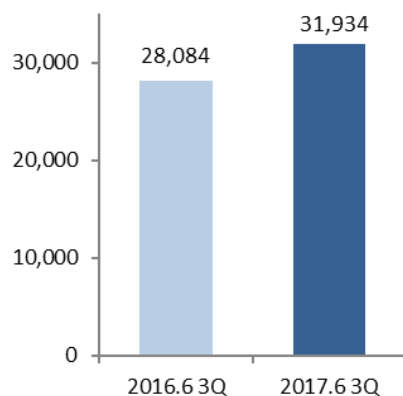
(単位:百万円)

	2016.6期 第3四半期 実績	2017.6期 第3四半期 実績	前年同期 増減	前年同期 比率
受注高(*1)	60,821	81,466	20,644	133.9%
コンサルタント国内	28,084	31,934	3,850	113.7%
コンサルタント海外	20,364	31,580	11,216	155.1%
電力エンジニアリング	12,322	10,400	▲1,921	84.4%
都市空間	-	7,525	7,525	-
その他	49	24	▲25	48.4%

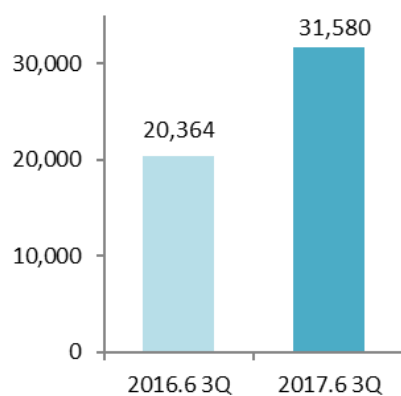
(\*1)2017年6月期より、受注高の算出基準を変更しております。詳細は、当資料8ページをご確認ください。

2016年6月期第3四半期実績についても同様の基準にて算出した数値を記載しております。

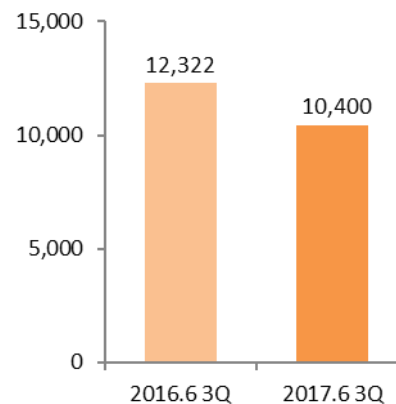
■コンサルタント国内



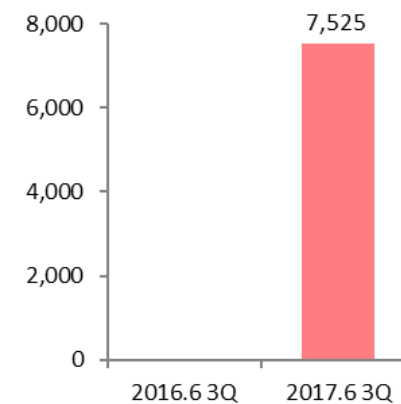
■コンサルタント海外



■電力エンジニアリング



■都市空間

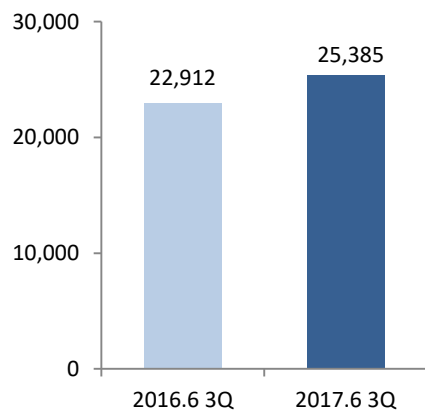


# セグメント別実績(売上高)

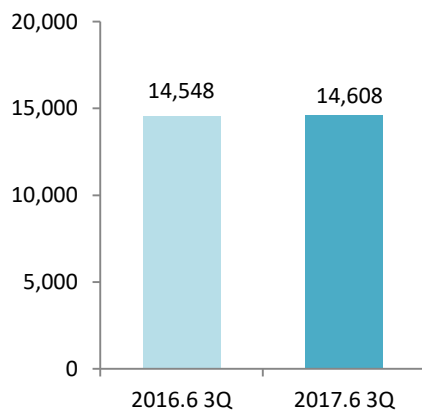
(単位:百万円)

	2016.6期 第3四半期 実績	2017.6期 第3四半期 実績	前年同期 増減	前年同期 比率
売上高	51,754	64,168	12,413	124.0%
コンサルタント国内	22,912	25,385	2,472	110.8%
コンサルタント海外	14,548	14,608	60	100.4%
電力エンジニアリング	13,390	14,653	1,263	109.4%
都市空間	-	8,608	8,608	-
不動産賃貸	393	368	▲ 24	93.7%
その他	509	543	33	106.5%

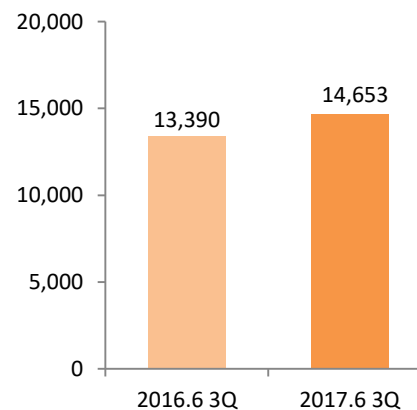
■コンサルタント国内



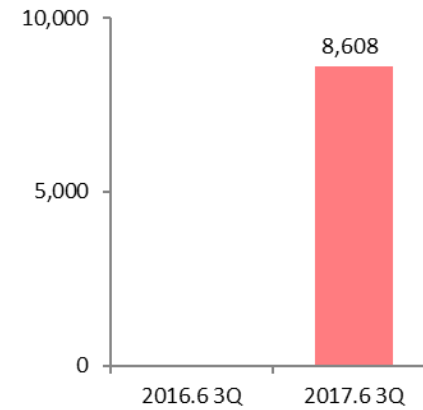
■コンサルタント海外



■電力エンジニアリング



■都市空間

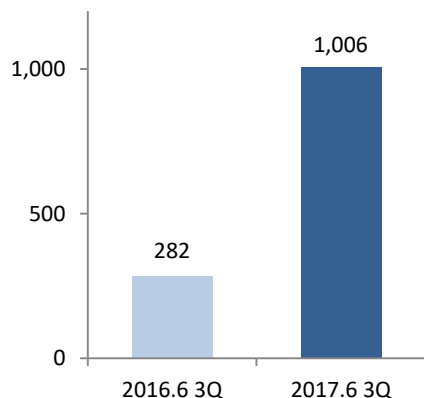


# セグメント別実績(営業利益)

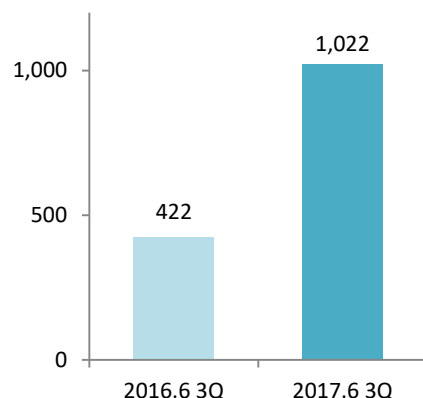
(単位:百万円)

	2016.6期 第3四半期 実績	2017.6期 第3四半期 実績	前年同期 増減	前年同期 比率
<b>営業利益</b>	<b>1,858</b>	<b>3,603</b>	<b>1,744</b>	<b>193.8%</b>
コンサルタント国内	282	1,006	724	356.6%
コンサルタント海外	422	1,022	599	241.9%
電力エンジニアリング	2,810	3,024	213	107.6%
都市空間	-	50	50	-
不動産賃貸	291	303	12	104.2%
全社費用	▲ 1,948	▲ 1,803	144	-

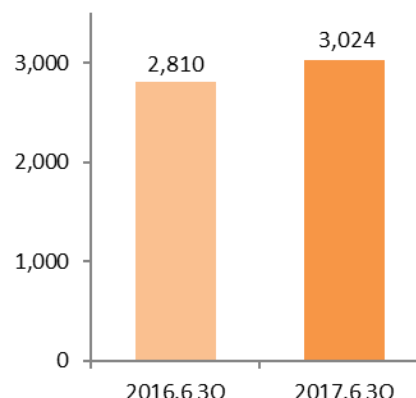
■コンサルタント国内



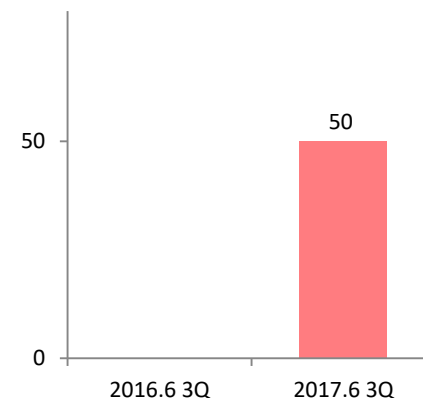
■コンサルタント海外



■電力エンジニアリング



■都市空間



# セグメント別概況

## コンサルタント国内

- 受注高は、防災・減災等の重点事業領域の受注獲得好調により前年同期を上回る
- 売上高は、手持ち受注高が増加したことにより前年同期を上回る
- 営業利益は、大型案件の生産性向上により収益性が改善し、前年同期を上回る

## コンサルタント海外

- 受注高は、ODA予算増の良好な市場環境に伴い前年同期を上回る
- 売上高は前年同期並みも、営業利益は収益管理諸施策の継続実施による収益性改善努力が寄与し、増益

## 電力エンジニアリング

- 受注高は、大型案件の成約時期遅れにより前年同期を下回る
- 売上高は、過年度からの大型案件の完工、VE(Value Engineering)提案および機電コンサルタント部門の強化の結果、前年同期を上回る
- 営業利益は、上記の売上高増加とともにコスト削減を徹底したことにより、前年同期比で増益

## 都市空間

- 受注高は、ほぼ計画通りの進捗
- 売上高、営業利益とも為替(ポンド安)影響を受けるも、現地通貨ベースでは計画通りの進捗

※償却費は2017年6月期は約10億円(のれん:約5億円、その他無形固定資産:5億円強)

※BDP社は3か月ずれでの連結となるため、当第3四半期(2016年7~2017年3月)は2016年4~12月の9か月分の業績を連結

※3Q実績レート 1£=139.6円 (2017年6月期計画レート1£=160円)

# 2017年6月期 通期見通し

2017年6月期の通期見通しに変更はなし。

(単位:百万円)

	2016.6期 通期実績	2017.6期 通期見通し	前年同期 増減	前年同期 比率
<b>受注高</b>	<b>104,019</b>	<b>114,000</b>	<b>9,980</b>	<b>109.6%</b>
<b>売上高</b>	<b>81,865</b>	<b>105,000</b>	<b>23,134</b>	<b>128.3%</b>
- コンサルタント国内	40,778	45,000	4,221	110.4%
- コンサルタント海外	22,070	26,000	3,929	117.8%
- 電力エンジニアリング	17,522	18,500	977	105.6%
- 都市空間	-	14,000	14,000	—
<b>営業利益</b>	<b>4,723</b>	<b>6,000</b>	<b>1,276</b>	<b>127.0%</b>
- コンサルタント国内	2,956	3,200	243	108.2%
- コンサルタント海外	1,156	1,600	443	138.3%
- 電力エンジニアリング	3,048	3,100	51	101.7%
- 都市空間	-	600	600	—
<b>経常利益</b>	<b>4,365</b>	<b>6,300</b>	<b>1,934</b>	<b>144.3%</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>1,823</b>	<b>3,600</b>	<b>1,776</b>	<b>197.5%</b>

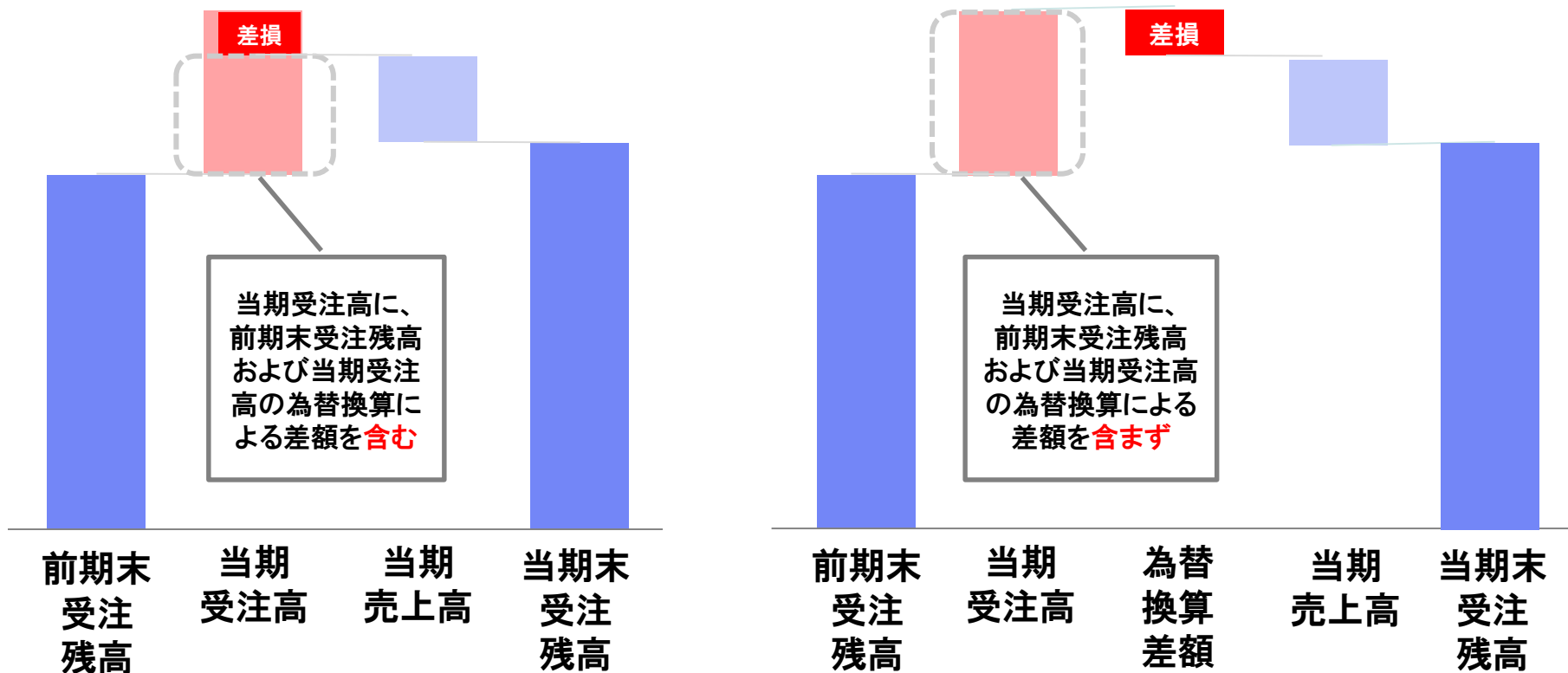
※売上高および営業利益について、主要セグメントである、コンサルタント国内/コンサルタント海外/電力エンジニアリング/都市空間事業の内訳のみを記載しております。売上高・営業利益の合計値には、不動産賃貸事業ほかが含まれています。

# (参考) 受注高の算出基準変更について

従来の受注高実績には、前期末受注残高および当期受注高の為替換算による差額(\*)を含んでおりましたが、今期より為替換算による差額を除いた受注高を記載しております。

## ■従来の算出方法

## ■今期からの算出方法



(\*)前期末受注残高および当期受注高の為替換算による差額(為替影響額)は、決算短信11ページ「4.補足情報」に記載しております。



# (TOPIC) アジア地域の再生可能エネルギー事業投資

## シンガポール水力発電事業投資会社 アイロンモントハイドロ社に出資

中期経営計画の基本方針に基づき  
再生可能エネルギー発電事業への投資を強化  
本投資により、アジア地域の有望な水力発電事業者  
や事業案件の発掘および運営参加を促進  
域内での再生可能エネルギー事業の普及拡大に  
取り組む

左から：  
アイロンモントハイドロ社 取締役 Mr.Abhay Pande  
当社 代表取締役社長 有元龍一  
アイロンモントハイドロ社 取締役 Mr.Aldo Artoko



### ■アイロンモントハイドロ(Ironmont Hydro Pte. Ltd.)概要

設立： 2016年6月  
本社： シンガポール  
事業内容： アジア全域での水力発電事業投資・管理・開発

### ■出資概要

株式所得日： 2017年5月  
出資総額： 10百万米ドル(約11億円) ※事業進捗に応じて段階的に実施  
※1米ドル=112.56円(2017年2月末レート)

### 中期経営計画 (NK-AIM) 基本方針

主力3事業の持続的成長

▶ 新事業の創出と拡大

自律と連携

# (TOPIC) グローバル会計の整備・浸透

## 海外拠点の経理ガバナンス強化活動を推進し、連結経営を強化

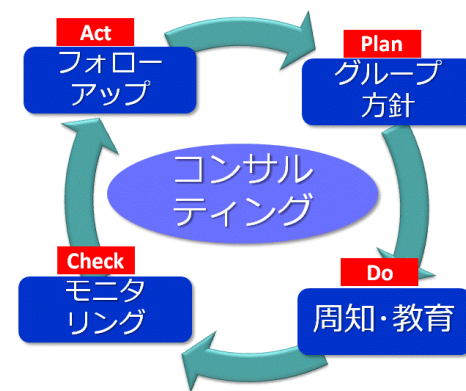
グローバルな事業展開を会計面からサポートするため、  
経理機能強化もグローバルに展開

### ■ 共通のモノサシ&プロセス導入

BDP社含むグループ会社共通の会計言語と  
標準プロセス導入による海外子会社の経理品質拡充、  
活動の持続的進化・深化を可能とする基本PDCAサイクル確立

### ■ 海外拠点と本社の連携強化

グループ目標の共有、各社による自律の強化、相互協力体制の確立



海外子会社の担当者が集ったポリシーミーティングの様子

中期経営計画 (NK-AIM)  
基本方針

主力3事業の持続的成長

新事業の創出と拡大

▶ 自律と連携